

令和6年度宝くじスポーツフェア実施要綱

1. 趣旨

一般財団法人自治総合センター（以下「自治総合センター」という。）は、宝くじの社会貢献広報事業として、この要綱の定めるところにより、「宝くじスポーツフェア」を全国各地で実施し、青少年の健全育成や、明るいまちづくりなどコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。

2. 事業

令和6年度宝くじスポーツフェアは、次の各事業とする。

- (1) 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール
- (2) 宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール
- (3) 宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー

3. 主催者

主催者は、地方公共団体（都道府県及び市区町村（政令指定都市は除く。以下同じ。））及び自治総合センターとする。

4. 時期

日曜日、祝祭日を含む2日間（2日目が休日になるように設定）

5. 経費

この事業の実施に要する経費は、原則として自治総合センターが負担するが、次の6の業務に要する経費は開催地の負担とする。

6. 開催地の主たる業務

- ①会場及び付帯施設、設備の提供と運営（ただし、野球の音響費及び看板製作費・備品レンタル費の一部、サッカーの音響費を除く。）
- ②運営スタッフの提供
- ③参加者、出場者の募集と管理
- ④開催告知及び集客
（ただし、告知用のポスター・チラシは、自治総合センターで作成し、提供する。）
- ⑤選手等の送迎（最寄り駅あるいは空港から宿泊地の間等）
（ただし、2日間の選手送迎用のバス借り上げ費用は、自治総合センターにおいて負担、それ以外は、開催地の負担とする。）
- ⑥選手、スタッフの昼食等手配

7. 事業の実施

地方公共団体は、この事業が円滑に実施されるよう積極的に協力すること。特に、広報誌への掲載、ポスター・チラシの掲示、配布等事業の周知を行い、会場を満員にするよう努力すること。

8. 宝くじの社会貢献広報

本事業は、宝くじの社会貢献広報事業として実施するものであることから、地方公共団体は、本事業の周知に際し、印刷物等広報媒体において宝くじに関する表示をする等、宝くじの広報に努めること。特に、市区町村の発行する広報誌には必ず掲載し、状況に応じ複数号に掲載すること。

9. 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール

(1) 事業の内容

タイトルホルダー等の著名な元プロ野球選手からなるドリームチームと開催地チームとの親善試合、野球教室等を行う。

① 指導者クリニック（120分）

- ・講師／3名
- ・対象／野球チーム指導者等
- ・人数／50～100名程度

※実施の有無を選択できる。

② 少年少女ふれあい野球教室（概ね120分）

- ・対象／小学生・中学生
- ・人数／200名以上
- ・教室を始める前に記念撮影を行う

③ ふれあい講演会（60分）

- ・講演者／ドリームチームの代表

※実施の有無を選択できる。

④ ドリーム抽選会（15分）

- ・対象／観客
- ・賞品／出場選手のサイン入りボールなど

⑤ アトラクション（30分）

- ・プロに挑戦（開催地出場者がドリームチーム投手、打者に挑戦する）
- ・ホームラン競争（開催地との対抗戦）

⑥ ドリーム・ゲーム

（7回戦・ただし90分を越えたら新しいイニングには入らない）

- ・ドリームチームと開催地チームとの親善試合
- ・資格／開催地住民及び関係者による選抜チーム（中学生及び高野連に所属する高校生は除く）
- ・球種／使用球は軟式ボールとする

(2) 会場

①各会場の確保：事業当日2日間と前日を含め全3日間

②施設要件

イ) 野球場（収容人員概ね2,000人以上を有するもの）

ロ) 講演会場（野球場に隣接した概ね300人程度収容可能な屋内施設）

ハ) 雨天会場（概ね600人以上収容可能な体育館等の屋内施設）：野球場に隣接していることが望ましいが、離れている場合は車で15分程度の距離にある施設が適当である。

※雨天会場と講演会場を兼ねることはできません。

(3) 出場予定選手

タイトルホルダー等の著名な元プロ野球選手20名

(4) 日程（予定）

〈第1日目〉

15:00～17:00 野球指導者クリニック

〈第2日目〉

9:30～ 9:45 記念撮影（野球教室受講者）

9:45～11:45 少年少女ふれあい野球教室

10:30～11:30 ふれあい講演会（野球教室とは別会場）

12:00～12:15 ドリーム抽選会

12:30～12:50 開会式

13:00～13:30 アトラクション

13:30～15:00 ドリーム・ゲーム

15:00 閉会式

10. 宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール

(1) 事業の内容

バレーボールの世界大会・オリンピック等の出場経験者からなるドリームチームと開催地ママさんチームとの親善試合、バレーボール教室等を行う。

① バレーボール指導者クリニック（120分）

- ・講師／3名
- ・対象／バレーボール指導者等
- ・人数／50～100名程度

② バレーボール教室（120分）

- ・対象／ママさんバレーボールチーム等
- ・人数／120～240名程度
- ・教室を始める前に記念撮影を行う

③ アトラクション（25分）

- ・ドリームチームメンバーと開催地の方々の参加型アトラクション

- ④ 親善試合「フレンドリー・マッチ」(概ね90分)
 - ・ ドリームチームと開催地の3チームにより勝敗を競う
- ⑤ ドリーム抽選会 (10分)
 - ・ 対象/観客
 - ・ 賞品/出場選手のサイン入りボールなど

(2) 協力

公益財団法人日本バレーボール協会

(3) 会場

①各会場の確保：事業当日2日間と前日を含め全3日間

②施設要件

公立体育館等(収容人員600人以上であること、また、2面以上のコートを有していること。)

(4) 出場予定選手

バレーボールの世界大会・オリンピック出場経験者等12名

(5) 日程(予定)

〈第1日目〉

14:00～16:00 バレーボール指導者クリニック

〈第2日目〉

9:30～ 9:45 記念撮影(バレーボール教室受講者)

9:45～11:45 バレーボール教室

12:20～12:30 オープニング・アクト(地元で活躍する団体のステージ)

12:30～12:50 開会式

12:50～13:15 アトラクション

13:15～14:40 フレンドリー・マッチ

14:40～14:50 ドリーム抽選会

15:00 閉会式

11. 宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー

(1) 事業の内容

サッカー元日本代表選手(国際サッカー連盟、アジアサッカー連盟または日本サッカー協会の公式大会に登録された経歴のある男子OB選手)及び元日本代表に準ずる元選手(以下「元日本代表選手」という。)からなるドリームチームと開催地チームとの親善試合、サッカー教室等を行う。

① サッカー指導者クリニック(120分)

- ・講師／指導者資格保有者2名
- ・対象／少年少女サッカーチーム指導者等
- ・人数／40～50名程度
- ② 少年少女サッカー教室（120分）
 - ・対象／小学生5、6年生
 - ・人数／200～250名程度
 - ・教室を始める前に記念撮影を行う
- ③ アトラクション（15分）
 - ・ドリームチームメンバーと開催地とのPK合戦
- ④ 親善試合「ドリーム・ゲーム」（75分）
 - ・ドリームチーム対開催地チーム
 - ・前後半各30分、ハーフタイム15分
- ⑤ ドリーム抽選会（15分）親善試合ハーフタイム時に行う
 - ・対象／観客
 - ・賞品／出場選手のサイン入りボールなど

(2) 協力

公益財団法人日本サッカー協会

(3) 会場

① 各会場の確保：事業当日2日間と前日を含め全3日間

② 施設要件

イ) サッカースタジアム（ピッチが天然芝もしくは、公益財団法人日本サッカー協会公認の人工芝張りであり、収容人員概ね3,000人以上を有するもの）

ロ) 雨天会場（収容人員概ね600人以上の体育館等の屋内施設）サッカースタジアムに隣接していることが望ましいが、離れている場合は車で15分程度の距離にある施設が適当である。

(4) 出場予定者

サッカー元日本代表選手22名

(5) 日程（予定）

〈第1日目〉

14：30～16：30 サッカー指導者クリニック

〈第2日目〉

9：30～ 9：45 記念撮影（サッカー教室受講者）

9：45～11：45 少年少女サッカー教室

12：45～13：00 開会式

13：00～13：20 アトラクション

13：30～14：45 ドリーム・ゲーム

ハーフタイム時にドリーム抽選会

14：45～15：00 閉会式